

第4回 氷川台駅周辺地区 地区計画検討会 開催記録

日時	令和5年12月11日（水）18:30～20:00	場所	氷川台地区区民館 大広間
出席者	<p>■委員 出席者7名</p> <p>■事務局 東部地域まちづくり課 竹内、吾妻、中西、井関</p> <p>■委託業者 セントラルコンサルタント 小坂、野添、宝満</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・説明スライド ・アンケート概要版 ・名札 ・自由意見用紙 		

次第

1	開会
2	アンケート調査等の結果について（動画）
3	意見交換
4	事務連絡

1. 開会

次第の通り、挨拶を行った。

区（挨拶）	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで意見交換やまち歩きで、まちの課題抽出とその共有を行ってきた。 ・別途調査したアンケートや交通量調査の数値的な結果を踏まえ、改めてまちの課題と目標を整理し、今後の地区計画の土台としていきたい。
-------	---

2. アンケート調査等の結果について（動画）

「①交通量調査結果」および「②まち歩き結果」、「③アンケート結果」、「④地区の課題と目標（案）」について動画を再生して説明を行った。

3. 意見交換

前項説明内容について意見交換を行った。

①交通量調査について

委員	・交通量調査の調査日程はそれぞれ平日と休日を代表した調査になっているのか。どのような基準で調査日を決めているのか。
セントラル	・一般的に休日と平日それぞれ1日ずつ調査を行う。8月等は学校の休暇等で避けることが望ましいので地域内の専門学校の夏休みを避けた日程で9月に平日と休日のサンプルとして1日ずつ実施した。
区	・交通量調査結果と実際の利用感到に差異はあるか。
委員	・マクドナルド前、正久保橋の交差点について、交差点付近は人が滞留する分、体感としてはもう少し混雑していると感じる。この交通量調査から人の滞留は見えるのか。
セントラル	・本調査は1断面の通過人数の調査なので滞留はわからない。
区	・アンケート結果によると駅利用は徒歩の通勤通学利用が多く、また交通量調査では特に長谷川興業交差点の北から南方向への利用者が多いとわかる。現況の交通量は、放射36号線整備により状況が変化すると考えられる。
委員	・コロナ前は駅を利用する人がもっと多かったように思うので、また今後、交通量は増えていくと考えられることから、北側の駅の出入口は必須だと感じる。
区	・我々が駅前の利用状況を現地確認した際も、駅の降車客は出入り口1から城北公園通りを北上する方が多かったため、本調査は現状の傾向をつかめていると思う。
委員	・P.3の図中の数値はピークとなる朝の駅利用者数なのか。
セントラル	・図中の数値は12時間の総数を記載している。 ・駅出入口は歩行者のみであるが、交差点は自転車の交通量も含まれている。
委員	・交通量に対する交差点等の大きさ、道路幅は適当なのか。
区	・今回は駅出入口の歩行水準について算定しているが、交差点の道路幅については算定していない。出入口について、現況は十分な歩行水準であるが、交差点についても歩行水準を今後算定する。
委員	・現在のマクドナルド前交差点の利用者が、放射36号線整備後に左右の交差点に流れてしまうので、同じ位置の横断歩道や北側駅出入口階段は必要だと感じる。

②まち歩きについて

委員	・アンケートでは、D地区で歩みにくいという結果が上がっているが、まち歩きでは歩いていないエリアであった。この地区について、我々の検討にどのように反映していけばよいか。
区	・D地区は戸建て住宅が多く、正久保通りに面しており、他の駅前空間と街並みが異なる。そのあたりの特徴と道路整備後のイメージを踏まえ、目標に反映する必要があると考えている。
委員	・正久保通りは放射36号線整備で交通量が減ると思うが、D地区内の道路は大きく変わらないと思う。
委員	・ライフ北側から武蔵野音楽大学第二幼稚園の方向に南東に伸びる道路は抜け道としての利用が多い。放射36号線整備で交通量が緩和されるのか知りたい。

区	<ul style="list-style-type: none"> ・4車線道路となる放射36号線整備が羽沢方向に道路が延伸するので、整備後は放射36号線へ車が流れることで抜け道としての利用は少なくなると考えられる。 ・また、交通量は放射36号線整備で南北方向に通過できなくなることによっても変化すると考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように道路の危険が緩和されるなどがあればいいが、それもないとなると地域としては、放射36号線整備によるメリットが少ないように感じる。 ・放射36号線整備でマクドナルド前の交差点は横断歩道がなくなり、南北方向に横断できないとなると、「北側に駅出入口階段ができる」等を示してもらわないと、利便性が悪くなる一方のように感じる。 ・駅南側エレベーターや北側階段の需要はアンケート結果にも表れているので、ぜひ区から都や東京メトロに強く要望してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駅出入口整備の情報はないのか。
区	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都等へ要望はしているが、現時点で示せるものはない。共有できるものがあれば検討会で今後共有する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・階段等の施設整備の役割分担が区なのか東京都なのか東京メトロなのか分からない。
区	<ul style="list-style-type: none"> ・整備主体については今後の役割分担によるところになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・整備主体がわからないとどこに要望すればいいかもわからない。
区	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会等を通したまちづくりの中で区としても、課題として認識しており、東京都等に要望としているが大きな問題なので、現在はまだ結論を用意できていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小竹向原駅は複数の駅出入口が整備されているので、氷川台駅でも不可能ではないのではないか。 ・正久保橋の交差点は橋桁がかかることで道路を横断するときは、階段を上ることになるのか。上からの平面だけでなく、放射36号線を横から見た図を示してほしい。
区	<ul style="list-style-type: none"> ・放射36号線整備後、正久保橋の交差点は高架による高低差ができるので、階段やスロープが設置されることになっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・階段を上れない方は道路を横断するために、スロープで横断歩道の先まで進んで折り返して横断することになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・池袋側からはコンドルタクシーのあたりからスロープとなり100m近くあるのではないかと。けがや障害で歩けなくなった場合、スロープは利用しづらい。

③アンケートについて

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの配布は全件配布できたのか。
セントラル	<ul style="list-style-type: none"> ・断られた住居以外はすべて配布した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回収数377は有意なサンプル数なのか。95%の信頼率としたとき、計算上は問題ないと思ったが、アンケート概要版にはその記載が必要ではないか。
セントラル	<ul style="list-style-type: none"> ・有意なサンプル数といえる。アンケート概要版に記載を検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・戸建てや集合住宅の件数や年齢等の属性は、地区の実情と整合が取れているのか。

セントラル	・建物の種別については、東京都のデータで集計をして整合を確認できるので確認したい。
区	・本アンケートは他地域のアンケートよりも10代～30代の方の回答が多いことは、まちづくりのアンケートとしては有効な結果だといえる。
委員	・高齢者の方は放射36号線整備について、内容までよくわかっていないのではないか。知らないので、うまくアンケートに回答できていないのではないか。
委員	・地区内の外食利用地区について、地区内で外食したいが飲食店がないのでできない状況である。その旨を分かりやすく記載してほしい。
委員	・結論は地区内で外食したいというニーズがあるが満たされていないということではないか。
区	・その認識で問題ない。
委員	・年代別クロス集計で有意な結果があれば教えてほしい。
セントラル	・駅の不満について、高齢の方は「駅北側に階段がない」よりも「エレベーターがない」の意見が多い。 ・駅周辺にほしい施設は、「文化施設」は10代、「子育て支援施設」は30代、「休憩施設」「医療施設」は80代以上の意見が多い。
区	・「飲食施設」は一人暮らしが多い20代の意見が多い。
委員	・他地区と比較して氷川台の世帯数は多いのか。世帯数が多ければ単身の方が多いということではないか。
区	・区全体として、1世帯当たりの構成人数は減少傾向にある。
委員	・ボリュームゾーンとなる30～50代が何をほしがっているのか。そこにフォーカスした方がいいのではないか。
区	・施設については断トツで飲食施設が多く、特に20代が多かった。 ・道路交通に関する意見が多かった。中でも30代、80代のご意見が多かった。30代はベビーカー利用、80代は歩行時に関して不満があると考えられる。 ・地区別では、駅アクセスへの不満が高いのが地区北側のB地区が特に高かった。
委員	・氷川台駅周辺で目指す賑わいは、千川駅程度が理想的だと感じる。
委員	・氷川台駅周辺と同規模の人口や乗降者数等と比較して客観的に示すことが必要ではないか。類似の駅周辺と、駅にある商業施設の数や種類を比較してスタディしてほしい。

④地区の課題と目標（案）について

委員	・課題・目標については、これまでの議論などが反映されていると思う。 ・駅のアクセス改善をしたいという要望に対して、アンケートだけでは根拠として弱いように思う。今後、どのように進めていけばよいか。
区	・まずは、地区計画によるルール作りを進めていくことが考えられる。 ・それだけではなく、今後どう進めていけばよいかは区としても検討をしていく必要がある。
委員	・放射36号線に関して、東京都の事業であるため、地域住民の声を反映させるため

	には都議や国会議員等の力も使っていないか。
区	・区からも東京都へ意見を今後も上げていくことは続けていく。
委員	・まちづくり全体に対する意見を発信する場として本検討会が適切なのか。それともより有効な場があるのか。
区	・まずは、この検討会で議論をいただいて、区としてもここでの検討を東京都へあげていきたい。
委員	・3つ目標の方向感はどうだと思うが、1つ目と2つ目は具体的にどうするのかと議論が堂々巡りしてしまうのではないかと。目標を決めるのはいいが、駅周辺の土地をどう活用するのかという話になると、住民と区が今後どう進めていくことになるのかイメージがつかない。
区	・今回は目標案ということで、次回以降具体的な内容を考えていくことになる。地区計画は制限内容を検討していきたい。
委員	・平和台駅周辺は道路整備が完了しているので、すでに地区計画の検討が終わっていると思うが、どのような結論が導かれたのか。結局、最低敷地面積や容積率を決めて終わりということか。
区	・それ以外についても検討できるものについては検討していきたいが、区としてはまずは地区計画の手法が一つあると考えているので、地区計画とそれ以外と整理をしている。
委員	・地区計画は効力があるものなのか。
区	・都市計画法や建築基準法が関わってくるので効力はある。
委員	・地区計画では石神井川沿い桜を植えるとか定めるわけではない。
区	・区の所管課が別にあって、地区計画以外についてはそれが可能なか等どこまでできるのかということは現時点でお伝えすることは難しいが話をすることはできる。
委員	・交通や商業、桜並木等を総合的にまとめてプランニングができないのか。当然その中で、行政だけではなくて住民や民間がやるべきことがあると思う。それは明らかにした上で取りまとめていくことは難しいのか。それらを仮説としてもかまわないので書面にまとめることはできないか。
区	・ひとつとしては、それらを将来像として掲げることはできると思う。
委員	・今後の流れはどのような進め方となるのか。地区計画以外の検討も多いので、意見を出していきたい。
区	・年度内はあと一回開催したい。今回の意見を踏まえ、目標を固めていくことと今後の進め方についても検討していきたい。

4. 事務連絡

次回の検討会開催予定の連絡を行った。

区 (事務連絡)	<input type="checkbox"/> 検討会開催予定 来年に地区計画検討会を開催する。 <input type="checkbox"/> 閉会
-------------	---